

新たな課題に対応した人権教育の推進事業の校内研修会を行いました。

1月29日（水）

本日「新たな課題に対応した人権教育の推進事業」の校内研修会を行いました。全校生徒は5時間目まで授業を行い、研究授業を行う3年生以外はノー部活で下校しました。「新たな課題に対応した人権教育の推進事業」は兵庫県教育委員会の指定を受けており昨年度と今年度で終了します。様々な面で成果があった取り組みとなりました。今回校内研修の一環として行い、小中連携事業として青垣小学校教職員の皆さんにも参加していただきました。公開授業の教科は保健体育科（保健分野）です。単元は「健康な生活と病気の予防」めあては「エイズについて感染原因と予防方法をはっきりさせよう」です。授業者は大槻武志主幹教諭です。公開授業終了後は丹波市教育委員会指導主事根木理恵指導主事に参加いただき「新たな課題に対応した人権教育の推進事業（まとめ）」の校内研修会となりました。これまでも青垣地域では幼小中高校の連携を進めており生徒間、教師間の交流を指定研修は終了しますが今後も人権教育に取り組んでいきたいと考えています。



新たな課題に対応した人権教育の推進事業【研究の概要】

○研究主題 「多様な価値観を認め合える教育の推進」

～自己理解・他者理解を深めるすべての教育活動～

○研究内容 「多様な価値観を認め、自他ともに大切にする人権教育の充実」

- ① 相手の立場にたって考える力、自分事として捉えられ想像力を高める取組
- ② 差別やいじめを許さない意識と実践力の育成をめざす取組
- ③ 情報モラル教育の推進
- ④ 人権教育資料の効果的な活用

「人権教育における地域・家庭との連携強化」

※児童養護施設や家庭、地域との連携した人権教育の在り方

○重点的に取り組む内容 「新たな課題に対応した指導内容、方法の充実方策に関すること」

「人権教育における家庭や地域、校種間の連携の在り方に関すること」

○令和5年度の成果

「多様な価値観を認め合える教育」という主題に基づき、本校のこれまでの取組と生徒の実態をふまえて①「多文化共生」②「障害者理解」③「高齢者理解」④「性的マイノリティの人権」についての授業研究を行った。それぞれの内容について、ただ知識として理解するのではなく、生徒自身が自分のこととして相手の困り感を理解し、支援方法を考えられるようにするために、体験活動を取り入れた指導を行った。自ら体験することで相手の立場に立ち、その心情を想像することは人権感覚を磨く上で不可欠である。相手の立場になって自分事として考え、思いやることを、生徒はこれらの授業を通して学ぶことができたと思う。また、これらの授業は生徒だけでなく、授業を参観した教師にとっても大きな学びとなった。生徒が真剣に考え、悩む姿を見ながら、教師自身も共に考え、授業後の研修会はもちろん、研修後もその話題が続くほど、熱心に取り組み、考えることができた。人権の課題は授業の中だけで行われるものではない。日々の学校生活全体の中で、小さなトラブルや授業中の発言の中でも、人権に触れることは多々ある。その時に教師が、あるいは生徒自身が問題点に気づき、人権に関わることとして意識することが、以前より増えてきたと感じている。また、本校では以前から話を聴く態度や話し方の指導に力を入れてきた。相手の方に体を向けて「聴く」「うなづく」「反応する」態度の育成、そして他者の発言を受けて自分の意見を言う「話法」の活用。これらは、安心して自分の意見が言える、何を言っても受け入れられる集団の雰囲気づくりであり、人権尊重の基盤づくりであると考えている。そういった自他を大切にする集団の雰囲気づくりも、学年が上がるほどに出来上がってきている。授業実践の中でも、そういった雰囲気の高まりを感じることができた。

○令和6年度の課題

生徒数の少ない1小1中の固定化された人間関係の中で、自分たちと違うものに対する抵抗感を強くもつ生徒が少なからず存在しており、授業として学んだときはしっかり考えられているのに、身近な人の人権となると知識と行動が乖離してしまうといった傾向がある。また、見える障がいに対しては理解できて、手を差し伸べることができても、見えない障がいに対してはそれが難しかったり、学力や運動能力など見える力で人の価値を図ったりする傾向がある。そのような生徒の価値観を崩し、一人ひとりのもつ個性を認め、尊重するといった「人権」を指標とした価値観を育てていけるよう、生徒の心に響くような教材や指導法を工夫し、さらに実践を重ねていくことが必要である。それと同時に、教師自身が常にアンテナを高くして人権に関わる問題を意識し、日常的に話題にして意見交流し、自らの人権感覚を高めていく努力をしていかなければならないと考える。そして、人権の「新たな課題」として、取り組んだテーマをさらに深めるとともに、それ以外のテーマについても学ばせていきたいと思う。

